

2024年12月17日 開催

名古屋大学 記者懇談会 次第

日時：12月17日（火） 12：50～13：50 @広報プラザ

司会：木村副総長

	内 容	担 当
1 冒 頭	・開会・本日のテーマ紹介	木村副総長
2	・本学のスタートアップ戦略の進捗状況について（資料1）	杉山総長 武田副総長
3	・12月、1月の行事予定表（資料2） （イベント案内） キャンパスコンサートの開催について（12月17日）	木村副総長
4	・自由懇談 総長からの情報提供（30分程度） ・閉会	杉山総長 門松統括副総長 木村副総長 武田副総長 藤巻副総長

【資料1】

本学のスタートアップ戦略の進捗状況について

東海国立大学機構・名古屋大学の スタートアップ施策

総長記者懇談会資料

2024年12月17日

東海国立大学機構のスタートアップ戦略について

当機構では、起業家教育から事業支援、海外展開に至るまで、一貫した大学発ベンチャーの育成・支援・協業を推進するため、以下の取り組みを推進。

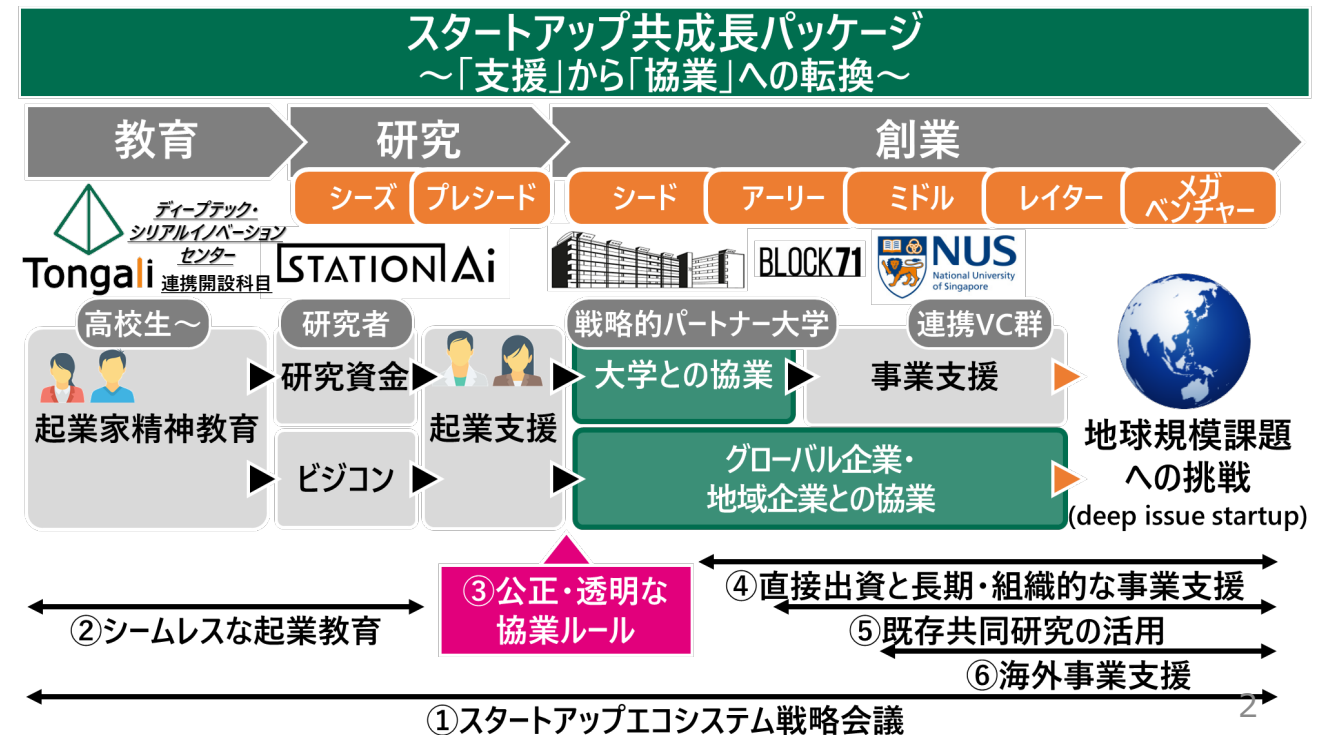
- ✓ 2022年度: スタートアップエコシステム戦略会議を設置(座長:機構長)
- ✓ 2022年度: スタートアップ共成長パッケージを策定
- ✓ 2023年度: スタートアップ共成長パッケージで掲げた6領域の施策を推進する実務者との定期的な意見交換を開始(実務者会議:1回/月) → 当面の活動目標を策定

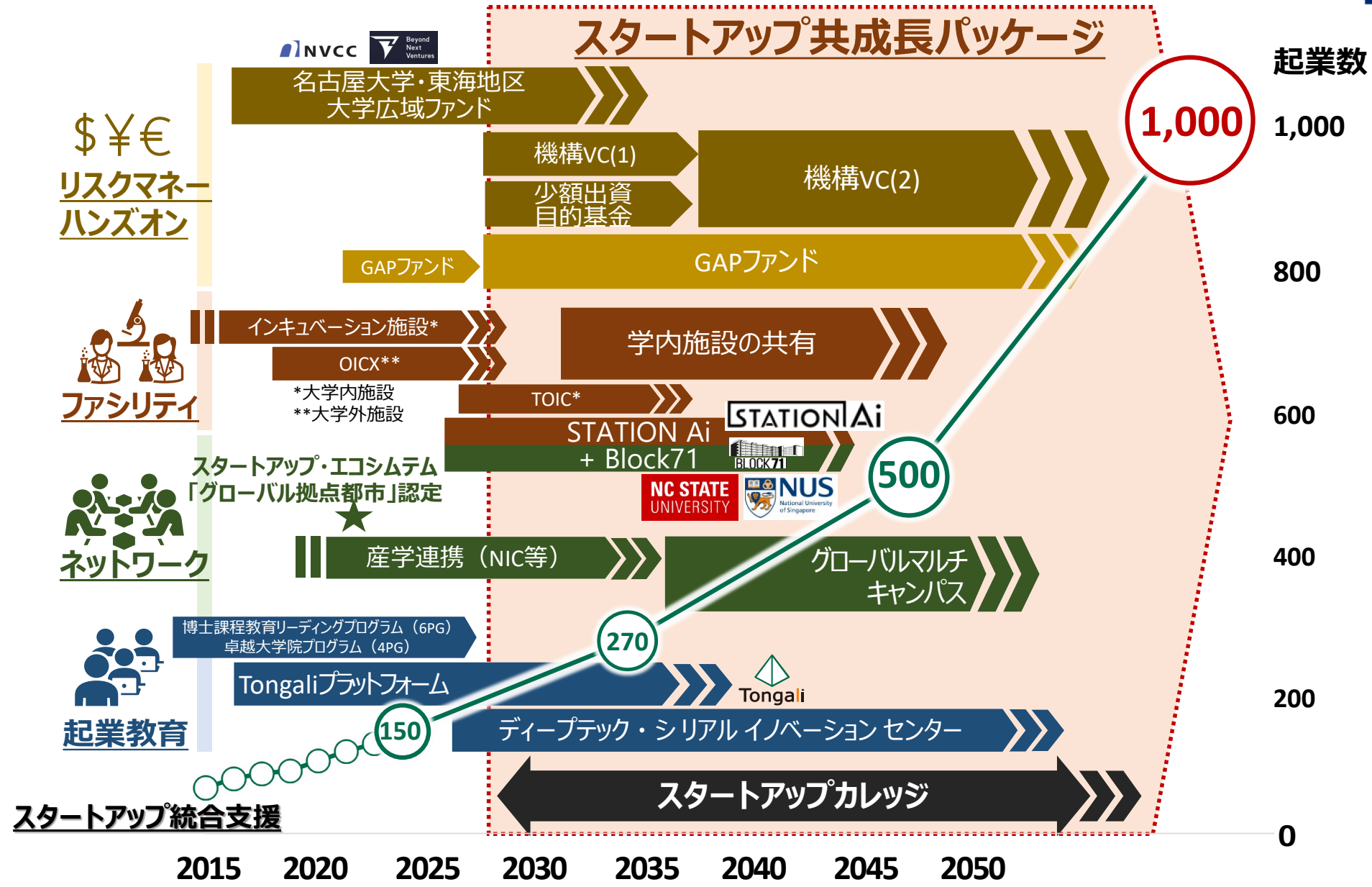
目指すアウトカム

- 年間50社のスタートアップを継続的に創出(2049年度累計1,000社)
- 世界の持続的な成長に寄与するメガベンチャーを創出し続ける
- 1万人の雇用と1.3兆円の価値創造
- 寄附と再投資による知と資金との循環成長を定着

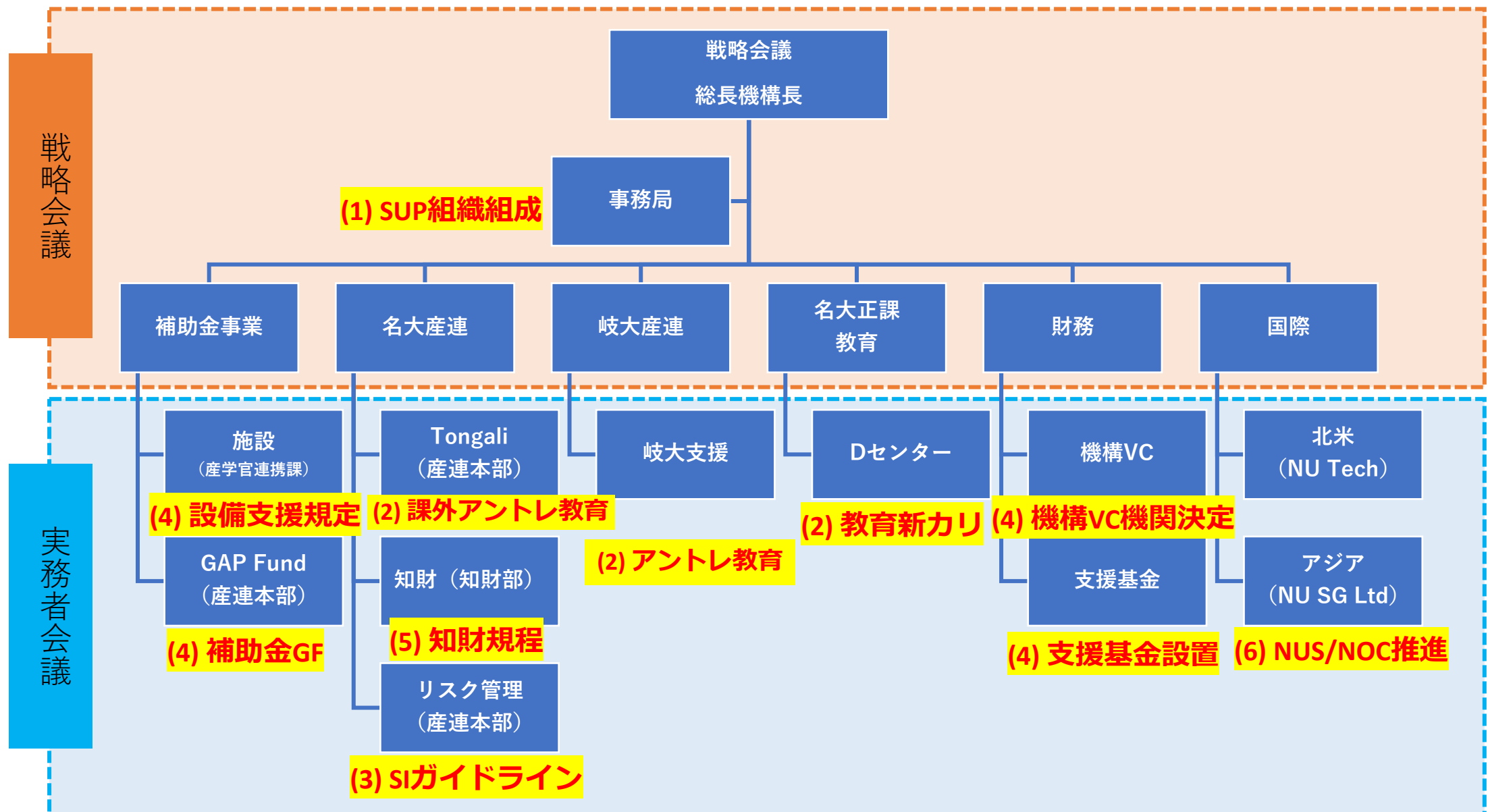
施策のポイント

- 全学生に対するシームレスな起業教育
- スタートアップと大学との公正・透明な協業
- 連携VCと協力した長期・組織的な支援、既存共同研究の活用
- 国内最大拠点(STATION Ai)・海外大と連携したエコシステムの形成





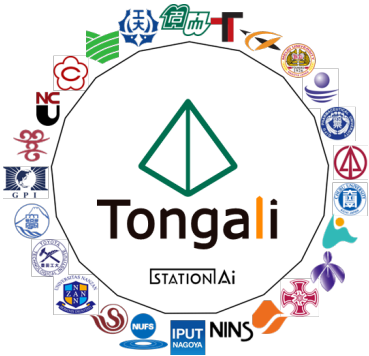
スタートアップ戦略 実施体制



Tongali

起業家精神教育の地域連携

起業を教育するのではなく、課題を発見し、解決方法を構想し、それを広く社会に訴える力を育てる



Tongali 東海地域 大学イノベーションエコシステム

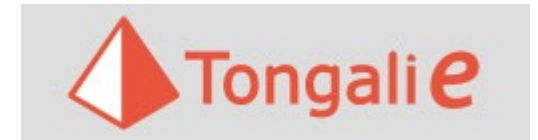
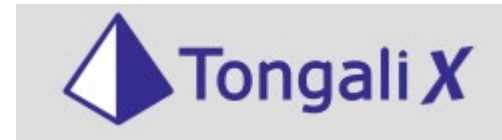
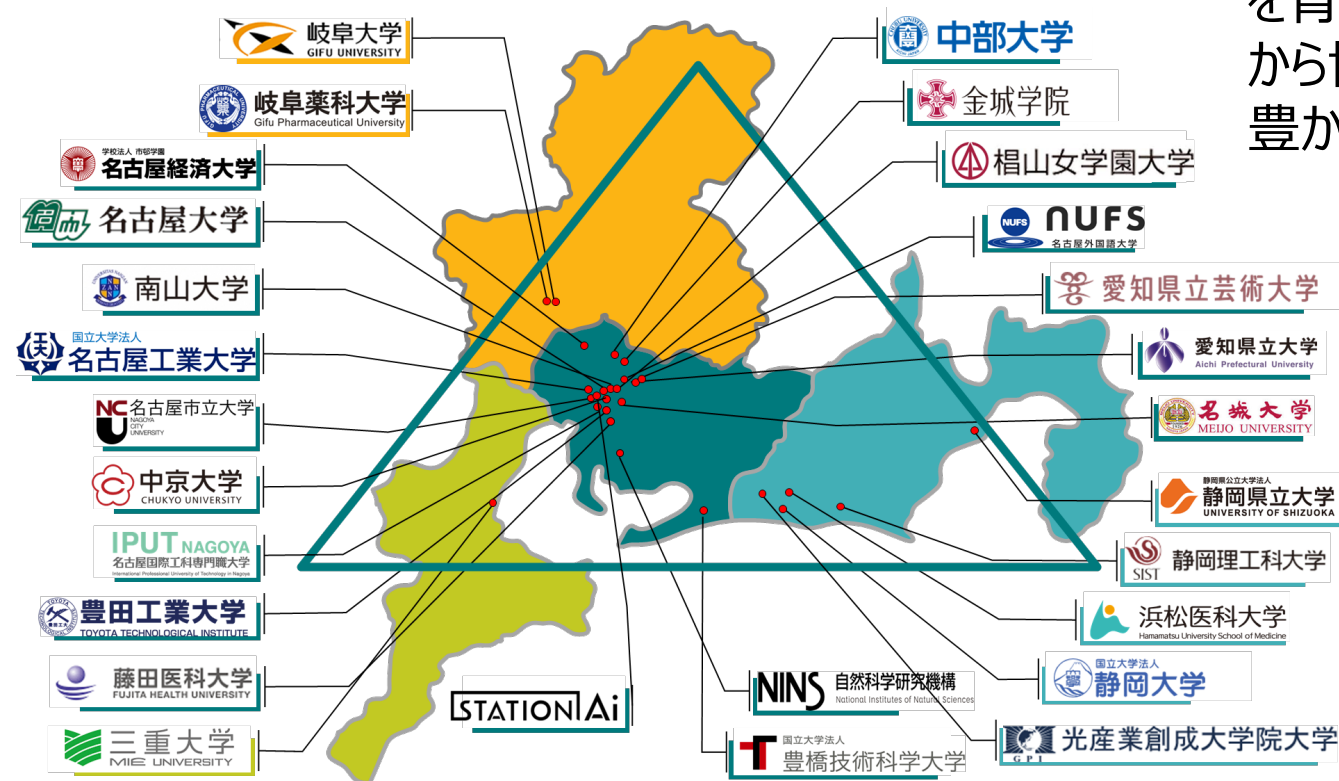


東海地域の大学・研究機関が取り組む

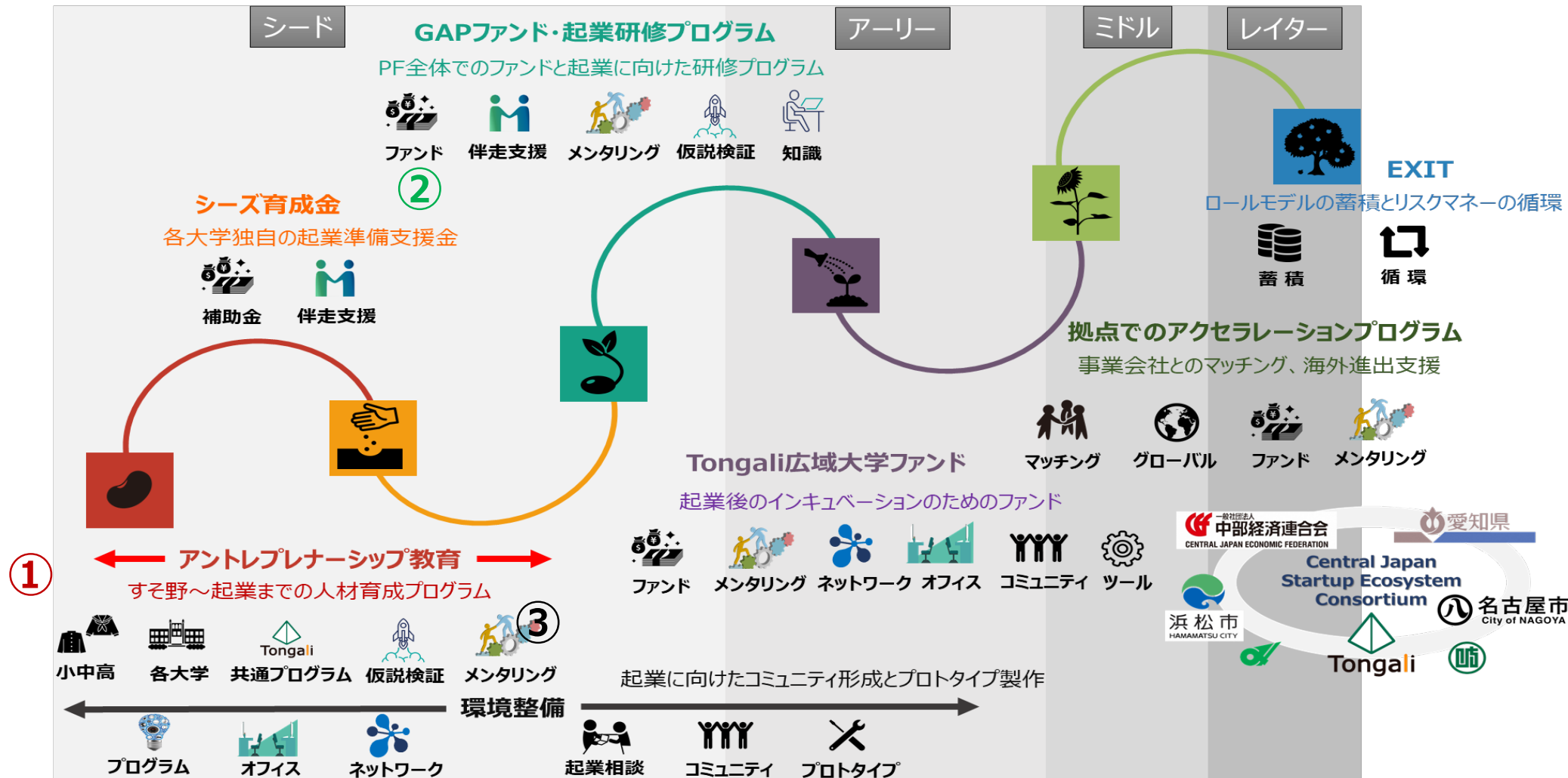
アントレプレナーシップ教育と起業支援活動のためのプラットフォームの総称

Vision アイデアとテクノロジーが交わる学校

Mission 未来に繋がる価値を創り、届けることができるトンガった人材を育成する。そして、技術を発掘、支援することにより、東海から世界に向けて、地球・社会や人類の生活を（モノ、心を）豊かにする。



2027年に目指す姿



教育、育成～起業支援まで、シームレスなプラットフォームを構築する。

数字で見るTongali



**25 University
+
2 Institutions**

Tongaliに参画する
機関数（2024年3
月現在）。



**8,220
Students**

Tongaliのアントレプ
レナーシッププログラ
ムの受講者数。
（2023年度）



**401+
ventures**

Tongaliに参画する
25大学発ベンチャー
累積起業数（2024
年3月現在）。

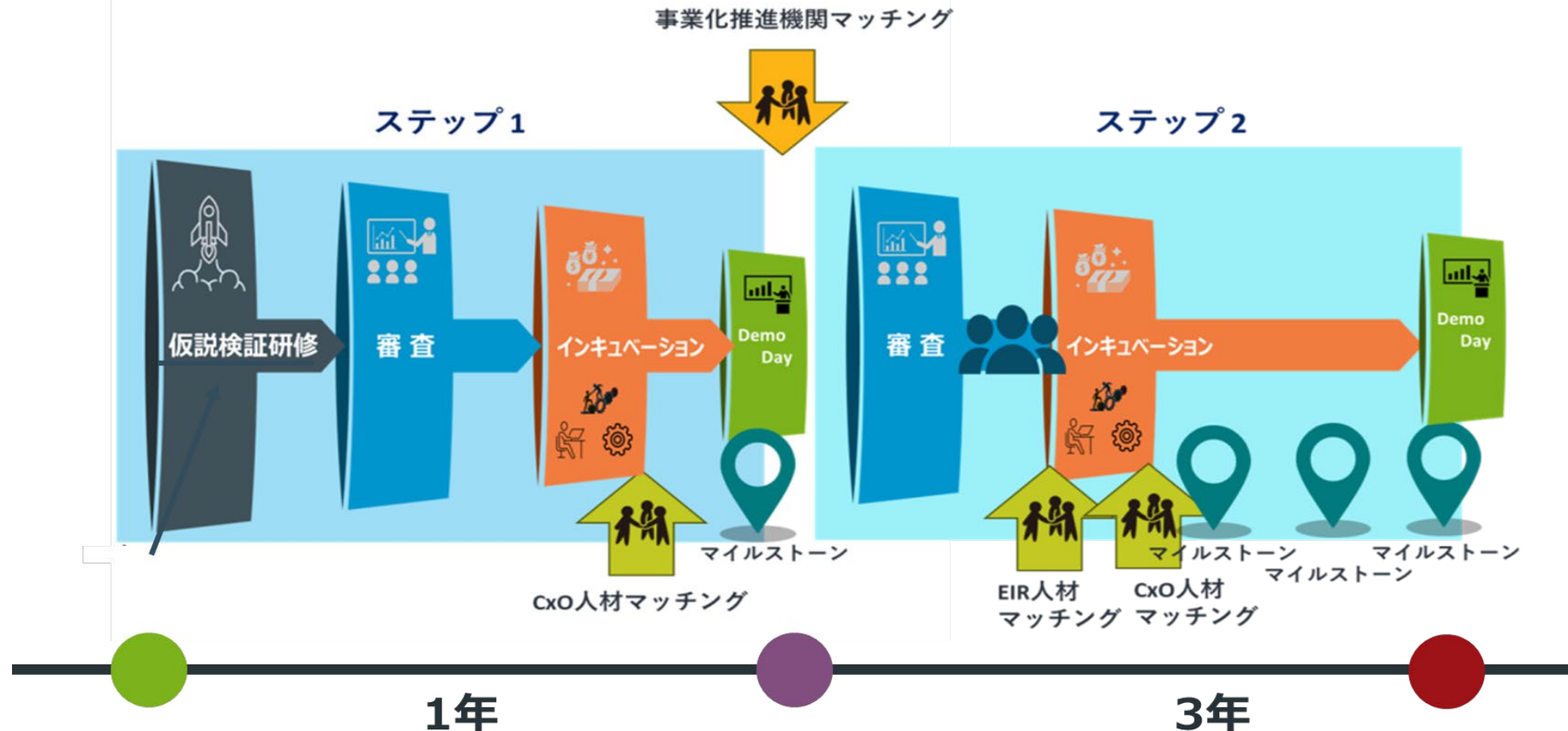


**¥146.8
billion**

Tongaliに参画する
21大学発スタート
アップの累積資金調
達額（2024年3月
現在）。

大学の研究成果が、事業化に適しているか？スタートアップとして産業を創れるのか？の検証。

大学等発スタートアップの創出に向けた取り組みについて質・量共に充実させ、大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの形成を目指していく。



Gap Fund

起業準備研究の支援

優れた基礎研究の成果の事業可用性を高める研究を支援し起業へと導く。

	ステップ 1	ステップ 2
通常枠の採択金額 (特別枠)	500万円 (1,000万円)	6,000万円 (1億円)
目的・対象	革新的な技術シーズについて ・顧客を作るためのトラクション作り ・課題とSolutionのFitを検討し、ビジネスとしての可能性を評価する。	のみ特別枠を設定 本格的にSU組成を目指す。 ・ビジネスとしての可能性評価 ・PoCを固めていくステージとして、Product/Market Fit (PMF) の設計を目指す。
技術分野	医療（創薬）系：医療分野、創薬分野、介護・福祉分野 モノづくり-Deep tech 系：上記以外全ての分野	
実施期間	1年	3年（1年毎に継続可否の審査有）
採択件数（合計）	年間 35～50件程度 総数 210 件（申請数の50%程度）	年間 6件程度 総数 21件（申請数の50%程度）
応募資格等	研究代表者は、Tongal参画機関15機関に所属する 教職員、学生（博士、修士課程相当の学生に限る）	
	仮説検証プログラム等の事前研修の受講	VC等事業化推進機関の参画が必要
インキュベーション プログラム	・起業化に向けたセミナー（5回程度） ・メンターによるメンタリング ・中間壁打ち 等	・事業化推進機関を中心としたメンタリング ・海外研修プログラム ・経営人材マッチング 等

ディープロテック シリアルイノベーションセンター

起業経済に関する正課教育

「勇気ある知識人」たるべき名古屋大学の学生が、身に着けるべき起業経済に関する素養を、学部学生から大学院生まで一貫して教育する。

1. 全学部提供するアントレプレナーシップ科目

B1・
B2

- ・「大学での学び」基礎論(B1 必修) … R5年度に実施済み。R6年度も内容を拡充
- ・アントレプレナーシップ初歩(B1 必修) … R6年度に試行。R7年度に実施
- ・社会課題解決とアントレプレナーシップ(B2 選択)
- ・イノベーション基礎(B2 選択)
- ・シリアル・イノベーション(B2 選択)

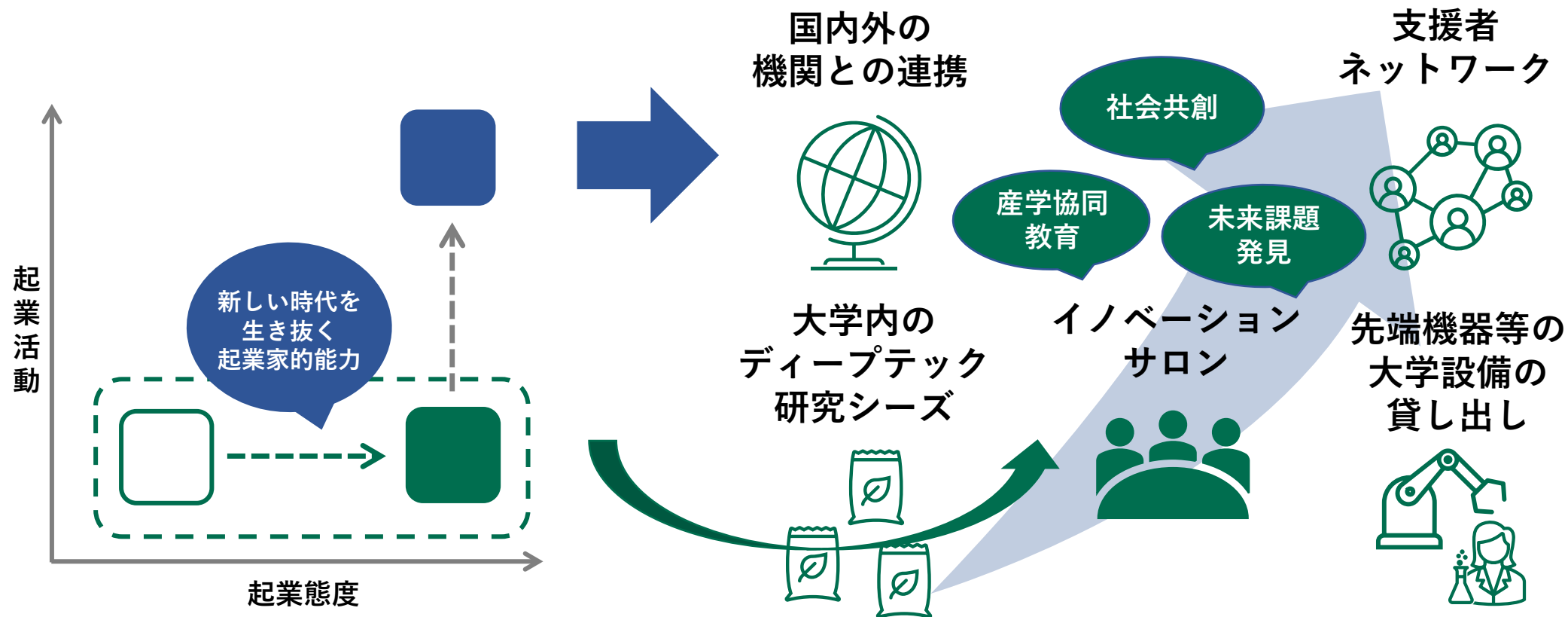
B3・
B4

- ・アントレプレナーインターンシップ … シンガポール(NUS)JASSO海外留学支援制度採択
(240万/6ヶ月・人) R6年度より開始
- ・超学部セミナー … R7年度に向けて計画中

修士
博士

- ・ベンチャー・ビジネス・特論および演習 … 工学研究科の現行科目。R7年度以降に全学展開予定
- ・最先端理工学実験 … 情報処理による測定のDX化に関する学生実験
- ・プロダクト開発実習 … R7年度よりDIIカリキュラムから得たノウハウを全学に展開予定
- ・起業体験協働プロジェクト … R7年度よりDIIカリキュラムから得たノウハウを全学に展開予定

2. 学内外スタートアップ支援

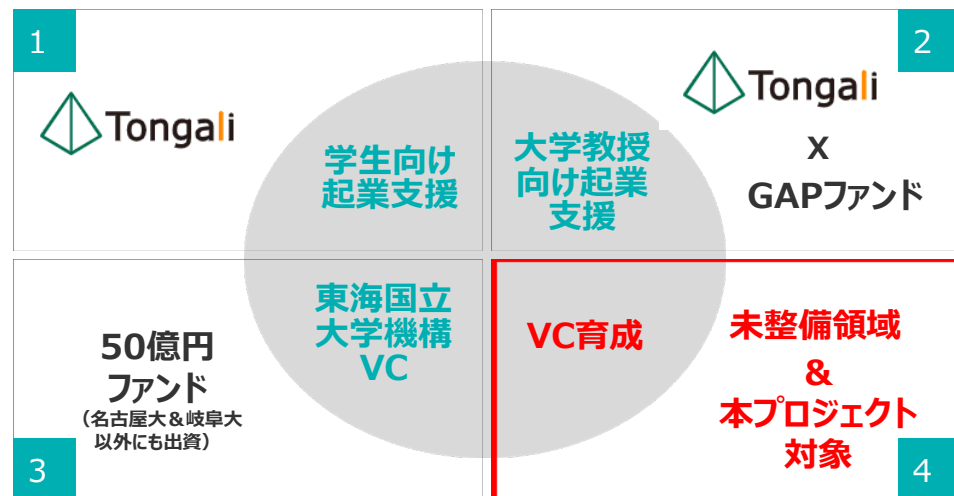


起業活動に移った学生のために、イノベーションサロンや先端機器共用システムの運用などを実施

3.短期集中VC講座（Dセンターによる企画）

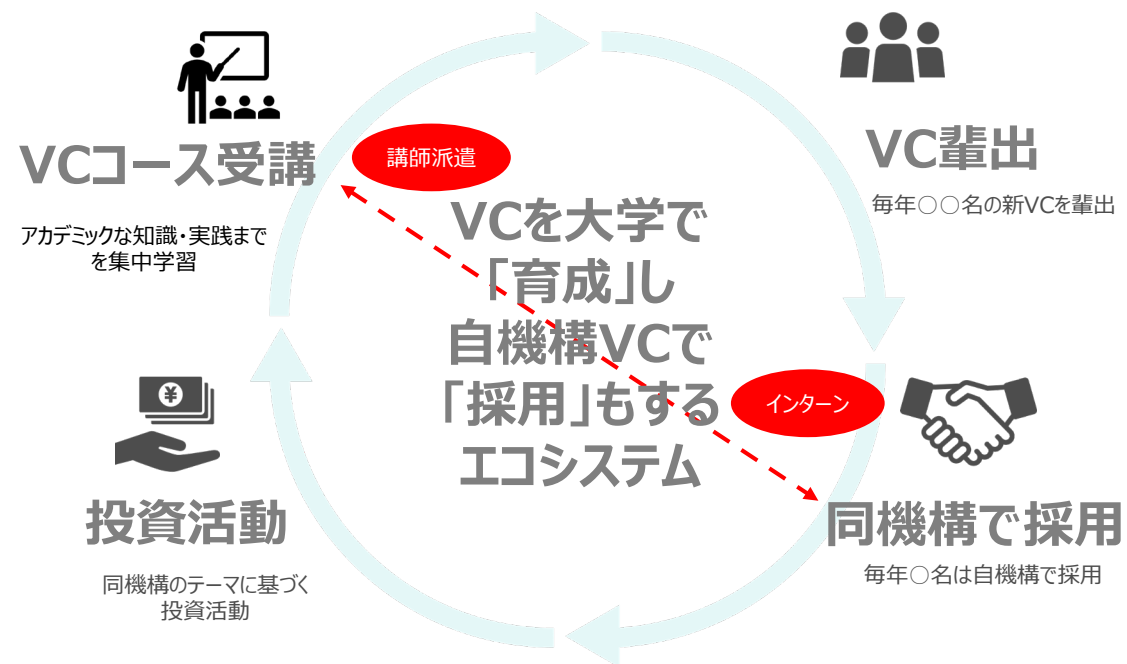
1月開講予定

「価値創造」を実現する上で四位一体が不可欠。
「VC育成」は未整備。この課題を解決する。



VC業界全体の課題と同じ

東海地区のスタート
アップエコシステム課題



「VC育成」モデルのイメージ

地域・国際連携

セントラルジャパノイノベーションエコシ
ステムの中核大学として

STATION Ai株式会社との基本合意書締結

- 東海地域のスタートアップ支援を互いに連携して推進することを目的に基本合意書を締結。
 - 本合意書は、”お互いが有する施設・設備を提供するにあたり、利用条件の協議に応じる”という内容。
→ 今後、具体的に協議を進めていく。
- ✓ 名古屋大学発スタートアップとSTATION Aiに入居するスタートアップにとって有益。
✓ スタートアップに優しい環境づくりをすることで、東海地域全体のイノベーション創出。



名古屋大学とSTATION Ai (株)との 互恵的な施設・設備利用等に関する基本合意書

STATION Ai

名古屋大学発スタートアップ企業*1



新事業や新たな
アイデアの想起



コミュニティの形成や
ネットワーキングの機会



起業しやすい環境



新たな
ビジネスチャンス



事業成長の
スピードアップ



STATION Ai入居スタートアップ企業



*1 名古屋大学発スタートアップとは・・・

(a)名古屋大学の教職員・学生が設立者又は設立に深く関与した企業。ただし、教職員・学生が退職、卒業した場合には、名古屋大学に1年以上在籍した者で、当該ベンチャー設立までの期間が1年以内のものに限る

(b)創業者の持つ技術やノウハウを事業化するために、設立5年以内に名古屋大学と共同研究等を行った企業

(c)既存事業を維持・発展させるため、設立5年以内に名古屋大学から技術移転等を受けた企業

連携事例

(1) オフィススペース等の提供



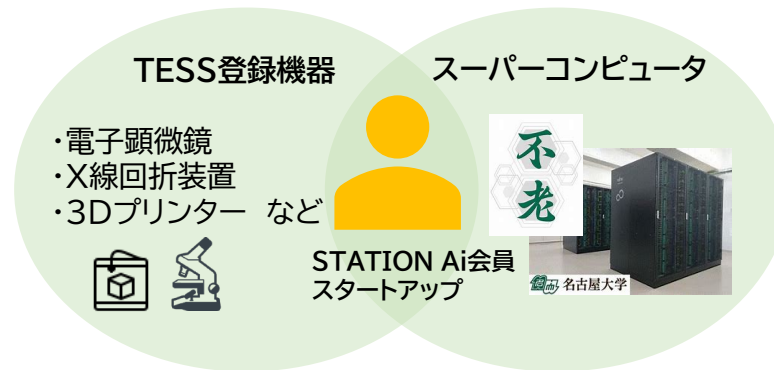
- ▶ 名古屋大学発SUにSTATION Ai内の各スペースを、STATION Ai会員SUに機構内・学内のSU支援施設(※コワーキングスペースに限る)を貸し出す
- ✓ 双方に属するSU間の交流促進
- ✓ コミュニティの形成やネットワーキングの機会創出



(2) 研究設備・機器の供用



- ▶ 東海国立大学機構が保有する研究設備・機器を、外部の人間が借りられること自体がほとんど知られていない状況。
- ▶ STATION Ai会員SUに、東海国立大学機構設備・機器共用システム(TESS)*に登録されている研究設備・機器やスーパーコンピュータを貸し出す。
- ✓ 研究の発展や新たなイノベーションの創出
- ✓ コストを抑えながら質の高い研究成果を獲得



*東海国立大学機構設備・機器共用システム(TESS)とは…

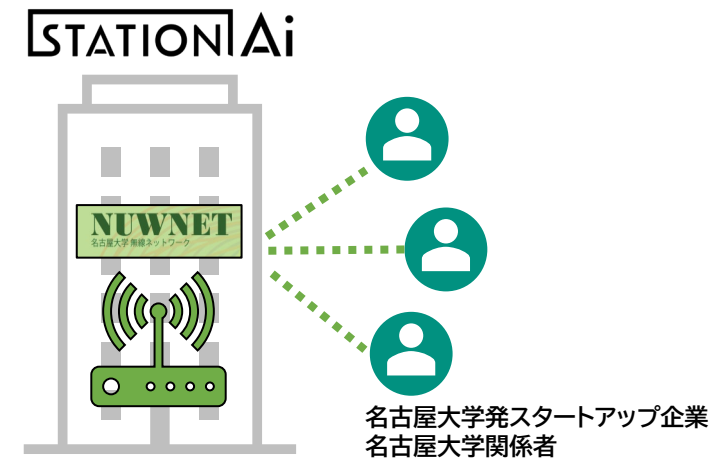
 東海国立大学機構設備・機器共用システム
Tokei National Higher Education and Research System Equipment Sharing System

東海国立大学機構が保有する研究設備・機器のうち、「東海国立大学機構設備・機器管理データベース」に登録された研究設備・機器を基に、東海国立大学機構イノベーションコアファシリテーションステーション及び機構内の各大学が連携して、その検索、利用及び利用料の算定等について支援を行う。

(3) 通信環境の提供



- ▶ STATION Aiの建物内に、名古屋大学無線ネットワーク(NUWNET)*の環境を整備する。
- ✓ 名大発SUをはじめとする名大関係者は、STATION Aiにおいても、大学と同じ環境で利用できる



*NUWNETとは…

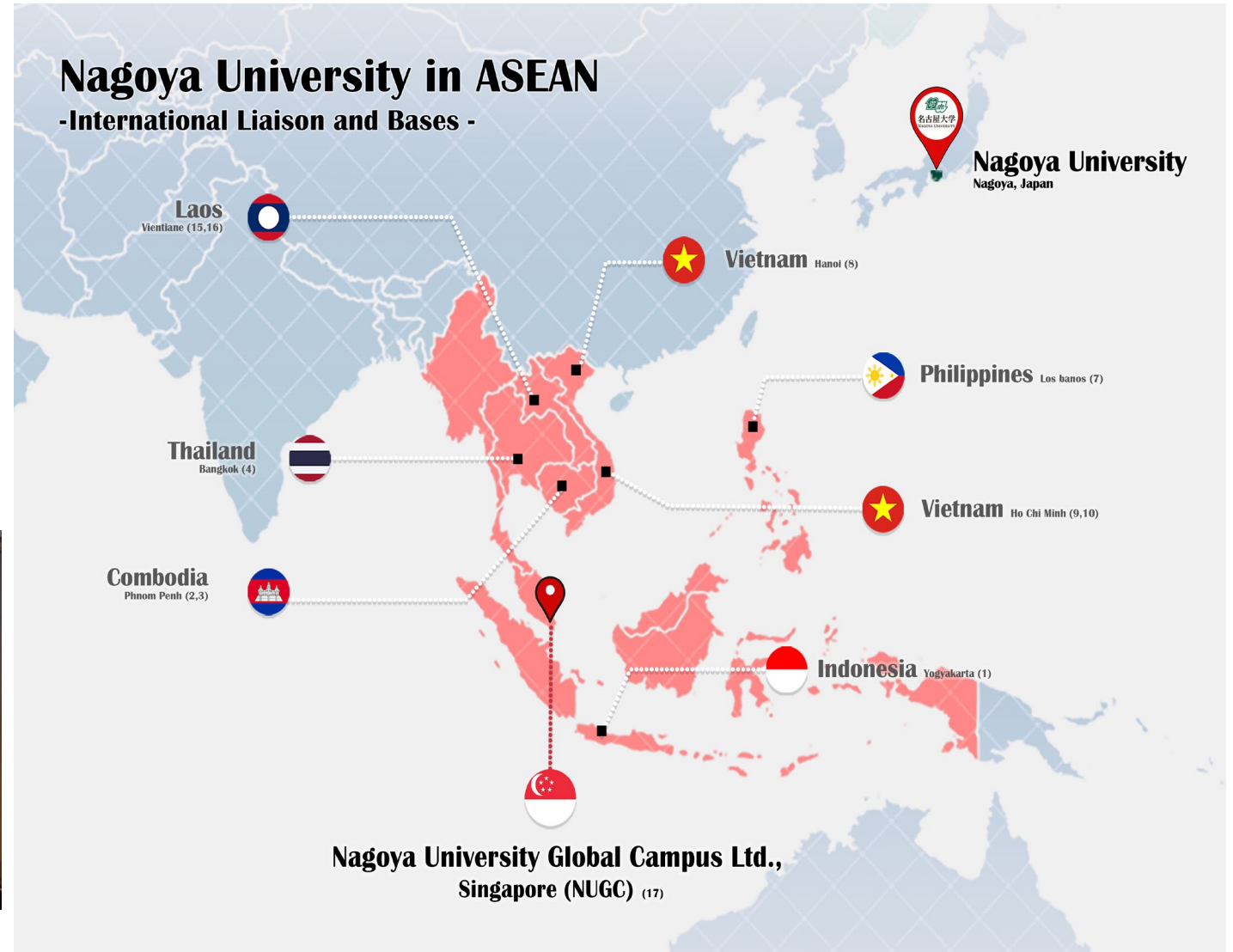
名古屋大学構成員に向けた無線LANサービス。
名古屋大学IDとパスワードで認証した上で利用できる。

戦略的海外大学連携（アジア地域）

- 東南アジア 8 拠点に Office & Center
- シンガポールに法人設立し、Full time 教員を配置（国立大学では唯一）



駐日シンガポール大使とシンガポール大使館および名古屋大学キャンパスにて

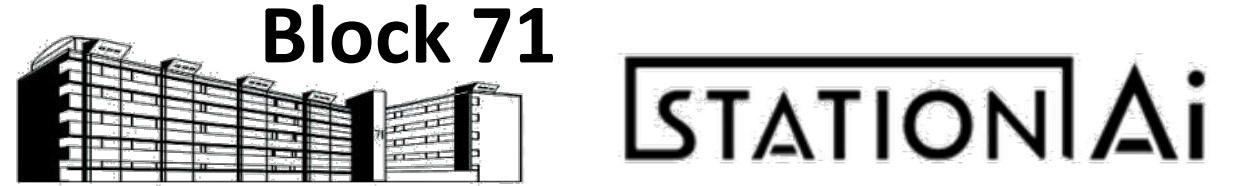


シンガポール国立大学との戦略的パートナーシップ



スタートアップ事業オフィス相互設置

- NUSオフィス名大（NIC館）に設置
- 名大オフィスをNUSが運営するスタートアップハブ BLOCK71に設置
- STATION Ai に NUS オフィスを設置



NIC		ナショナル・イノベーションセンター National Innovation Center	
学術研究・産学連携推進本部 Academic Research and Industry Linkage Promotion Department	未来社会創造機構 Institutes of Innovation for Future Society	未発表	未発表
本部長室 Director	名古屋COI拠点 Center of Innovation, NAGOYA	208	名古屋
企画・プロジェクト推進部門 Planning and Project Division	タイヤ特性測定操作室 Tire Dynamic Characteristics	311	105
産学協創・国際戦略部門 Industry-Academia Collaboration and International Strategy Division	タイヤ特性測定室 Tire Dynamic Characteristics	311	108
研究支援・人材育成部門 Research Support and Personnel Development Division	VRドライビングシミュレータ室 Virtual Reality Driving Simulator	311	110
知財・技術移転部門 Intellectual Property and Technology Transfer Division	ドライビングシミュレータ操作室 Driving Simulator	311	111
学術・連携イノベーション部門 Academic Research and Innovation Division	ドライビングシミュレータ室 Driving Simulator	311	112
スタートアップ推進室 Startup Promotion Office	車両台上特性評価室 Vehicle Test and Analysis	311	113
メディカルイノベーション推進室 Medical Innovation Division	インクジェット式光造形室 Additive Manufacturing	311	114
シンガポール国立大学 NUS Enterprise NUS Overseas Campus (NOC) @ BLOCK71	粉末焼結積層造形室 Additive Manufacturing	311	115

起業教育連携

NUS Overseas Campus (NOC) 日本で唯一名古屋で展開

- NUS学生スタートアップ（名大発中心）でインターン
- 名大生スタートアップ（NUS発中心）でインターン



名古屋大学SGオフィス



タン学長、杉山総長
大村知事@STATION Ai

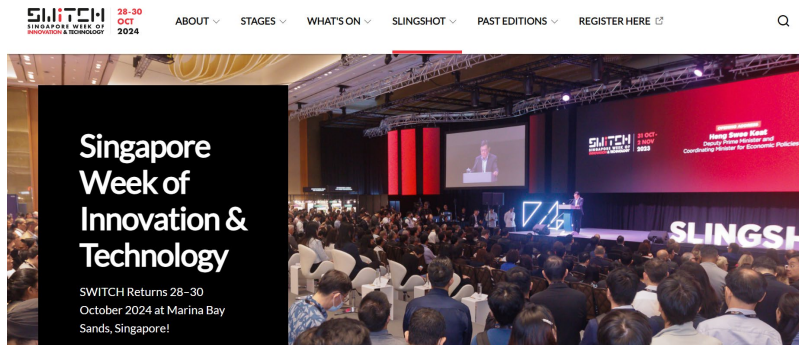


タン学長と杉山総長



協定締結(2023.9)

NUS名古屋オフィス



CENTRAL JAPAN Innovation Night

2024.10.27日 18:00 > 20:00 受付 17:30

場所 BLOCK71 SINGAPORE
71 AYER RAJAH CRESCENT
#02-01, SINGAPORE 139951

無料 FREE

登録フォーム

主催団体 CENTRAL JAPAN STARTUP ECOSYSTEM CONSORTIUM



シンガポールのヘイ・スイキャット副首相と杉山総長

TECHINNOVATION SINGAPORE 28 - 30 OCT 2024 Press Centre

Home PressKit Accreditation FAQ Gallery Main

TECHINNOVATION
SINGAPORE 28 - 30 OCT 2024

PRESS CENTRE

スタートアップイベント@シンガポール

Central Japan Innovation Capital

機構ベンチャーキャピタル

地域・大学と一体でベンチャーの確実な成長を支える

東海地域の大学発ベンチャー創出育成の展開

大学発スタートアップは創出から育成フェーズへ
2024年は地域スタートアップエコシステムの変曲点

Tongali
東海地域の大学・研究機関が取り組むアントレプレナーシップ教育と起業支援活動のプラットフォーム

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

愛知・名古屋・浜松地域が産学官金一体のスタートアップ・エコシステム拠点を形成



スタートアップ共成長パッケージ
スタートアップエコシステム戦略会議

2015

2020

2022

2023

2024

名古屋大学・東海地区大学広域ベンチャーファンド

民間のVCが名古屋大学、岐阜大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、三重大学に由来するベンチャー企業に投資するファンドを設立し、投資を開始

スタートアップ育成研究開発子会社を設立
5か年計画
投資額10倍

TIIの設立

STATION Ai

日本最大規模のインキュベーション施設の相互利用



出典 STATION Ai



名大星オフィス

NUSを介したグローバル展開

インテグリティ管理
公正性・透明性の確保



機構VCの設立



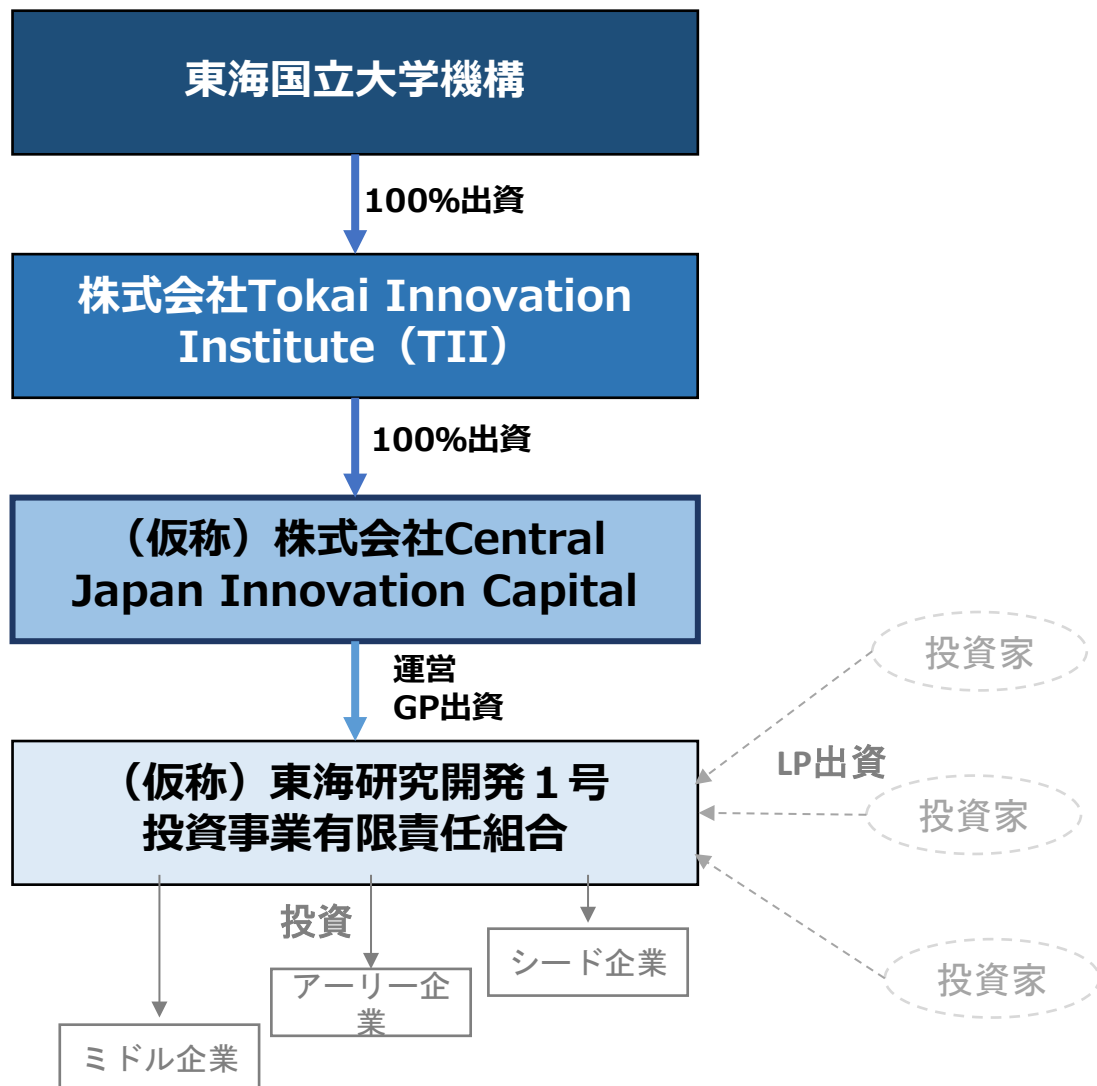
孫会社方式で広く大学の知の社会実装を促進



ファンドの運用会社の概要

ファンドは、機構孫会社をGPとして運営
GPを孫会社とすることで、大学発スタートアップに限らず広範なスタートアップへの投資が可能
【機構との出資関係等】

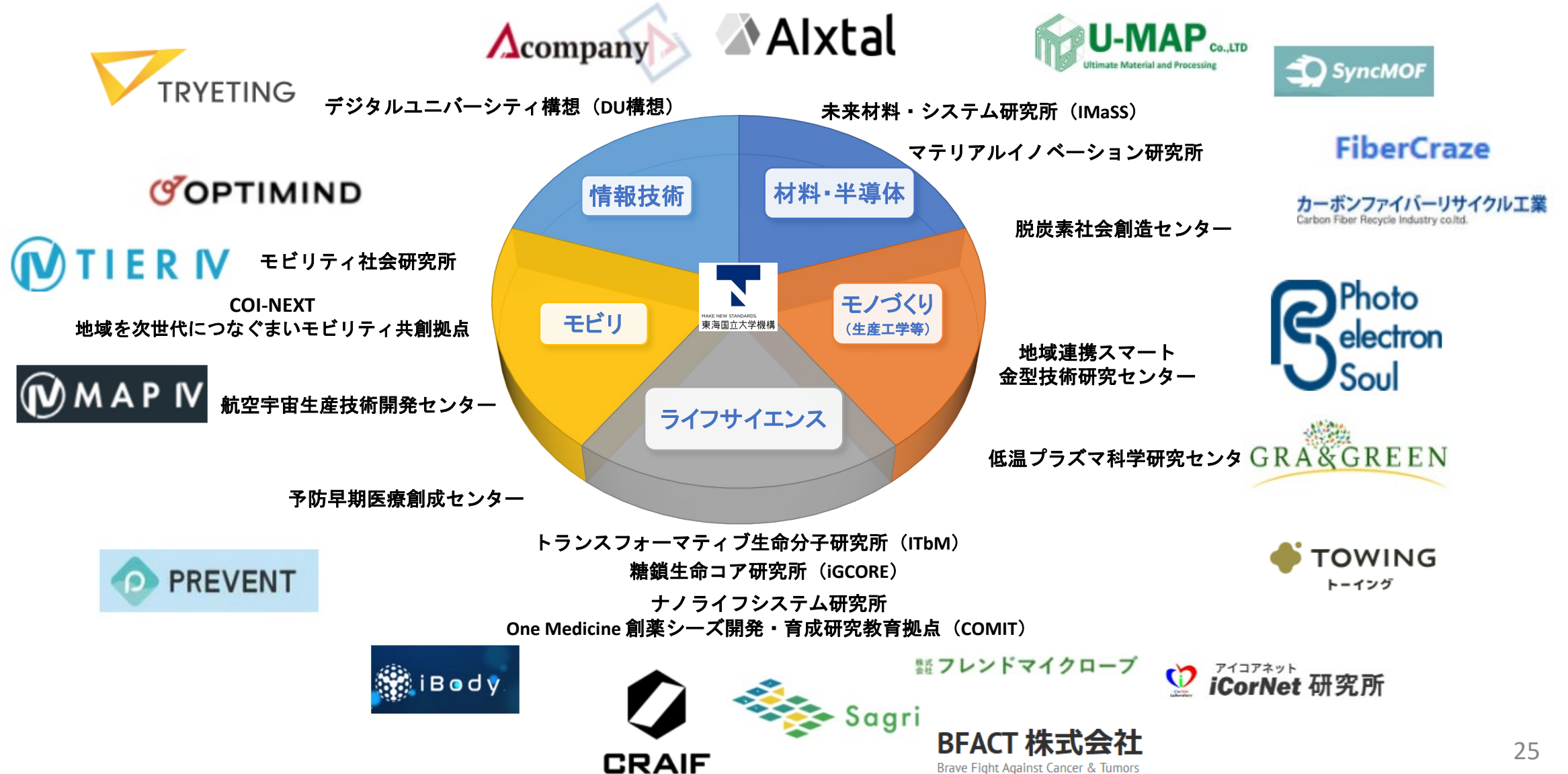
【運用会社の概要】



社名	株式会社Central Japan Innovation Capital
住所	愛知県名古屋市千種区不老町NIC311
代表者	武田 一哉
株主	株式会社Tokai Innovation Institute
設立日	2024年11月1日
資本金	3,000万円

東海国立大学機構の研究力と大学発ベンチャー

機構の研究力の周辺に多くの大学発スタートアップが活躍



「Deep Tech」×「B to B」への投資を中心に、大学発スタートアップに限らず、幅広い分野、ステージ、地域への投資を通し、社会、経済へのポジティブインパクトを志向

コアフォーカス	Deep Tech × B to B
投資金額	20百万円～500百万円
投資対象	大学発SUに限らず、東海地域に大きなインパクトを与え得るスタートアップに投資
投資ステージ	シード（カンパニークリエーション含む）、アーリー、ミドルを中心に投資
投資手法	リード投資+フォロー投資
投資領域	情報技術、モビリティ、材料・半導体、ライフサイエンス、モノづくり（生産工学等）、アグリ ※「情報技術」×「モビリティ」等、各技術を融合したスタートアップへも注力投資

※必ずしも東海地域発のスタートアップである必要はないが、「東海地域に大きなインパクトを与えうる」かを判断材料の1つとします。

広くご支援をお願いします

【資料2】

12月、1月の行事予定表

行事予定

開催日	行事等の正式名称	概要(場所・時間・講演内容・講演者・入場料など)	連絡先及び内線番号	URL
11月26日(火)～ 5月10日(土) 日・月曜、12/28～ 1/6、1/18休館	博物館第41回企画展 「筋骨格探偵団！」	場所:博物館 時間:10:00～16:00(入館15:30まで) 入場料:無料 [関連講演会] 場所:博物館3階講義室、オンライン 時間:13:30～15:00 講演題目:「骨の内部から探る動物の生態(仮)」(12/21) 講演者:林 昭次氏(岡山理科大学准教授) 講演題目:「骨のカタチが物語る動物の運動適応(仮)」 (3/1) 講演者:藤原慎一(博物館講師) 講演題目:「骨内の空洞構造から見える動物の知覚」 (3/29) 講演者:河部壮一郎氏(福井県立大学准教授)	博物館事務室 052-789-5767	https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/display/
12月17日(火)～ 1月24日(金) 土、日、祝日、12/30 ～1/10休館	The 36th Exhibition of ITbM Gallery “Sunlight filtering through leaves”	場所:ITbM1階エントランスホール 時間:9:30～19:30 入場料:無料	トランスフォーマティブ 生命分子研究所 特任講師 高橋一誠 052-789-4999	https://www.itbm.nagoya-u.ac.jp/itbm-gallery/
12月17日(火)	Campus Concert キャンパスコンサート2024冬	場所:豊田講堂 時間:18:00～ 出演者:光行いちご氏(ピアノ)、大竹かな子氏(ピアノ)、福 田勝太氏(バイオリン)、鈴木豊大氏(パーカッション) 対象:一般 参加費:無料(事前申込不要)	Development Office 052-747-6559	https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/pCdF94xe4eeTLQF
12月18日(水)	メイク・ニュー・スタンダード 次世代研究事業 アジア・環太平洋未来創造分野セミナー	場所:文系総合館7階カンファレンスホール 時間:13:30～14:30 講演題目:「『未来をつくる』水素ビジネスの事業開発と オープンイノベーション」 講演者:幸島公彦氏(住友商事株式会社水素事業ユニ ット) 参加費:無料(要事前申込)	東海国立大学機構 メイク・ニュー・スタン ダード次世代研究事業 アジア・環太平洋 未来創造分野事務室 aihara@agr.nagoya-u.ac.jp	https://dec.nagoya-u.ac.jp/thinking/14632.html
12月18日(水)	Idea Stoa デジファブ機器入門 「ガーメントプリンターでものづくり！」	場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)1階 Idea Stoa 時間:10:00～12:00 対象:学生、一般 参加費:無料(事前申込不要)	学術研究・ 産学官連携推進本部 Idea Stoa 運営事務局 ideastoa@aip.nagoya- u.ac.jp	https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/events/garmentprinter20241218/
12月19日(木)	第204回防災アカデミー	場所:減災館1階減災ホール、 オンライン(Zoomウェビナー) 時間:16:30～18:00 講演題目:「住民の多様性を踏まえた対策を考えること - 私の常識はあなたの非常識かも?! -」 講演者:小山真紀氏(岐阜大学准教授/減災連携研究セ ンター兼任・協力教員) 定員:500名 対象:一般 参加費:無料(要事前申込)	減災連携研究センター inquiry- academy@gensai.nagoya- u.ac.jp	https://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=27766
12月19日(木)	Idea Stoa LUNCH Vol.17	場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)1階 Idea Stoa 時間:12:10～13:00 講演題目:「1969年頃に名古屋大学で学園紛争がありまし た」 講演者:根本二郎(本学名誉教授)、古木龍太郎(人文学研 究科博士前期課程学生) 対象:研究者、一般 参加費:無料(事前申込不要)	学術研究・ 産学官連携推進本部 Idea Stoa 運営事務局 ideastoa@aip.nagoya- u.ac.jp	https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/events/iseastolunch17/
12月20日(金)	【オンライン】 第111回名大カフェ“Science, and Me”	場所:オンライン(Zoomウェビナー) 時間:19:00～20:15 講演題目:「イネのかたちと収量をつかさどる遺伝子の秘 密」 講演者:縣步美(生命農学研究科助教) 対象:一般 定員:500名 参加費:無料(事前申込不要)	学術研究・ 産学官連携推進本部 outreach@t.mail.nagoya- u.ac.jp	https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/research-information/mcafe/event111

12月21日(土)	【オンライン】 大学IR×DX研究会第5回セミナー	場所:オンライン(Zoom) 時間:13:30~15:30 講演題目:「大学基本情報って国公立大学の学部・学科、研究科・専攻の情報を確認できる使えるデータなんですけど、使ってみたいと思いませんか?」 講演者:和嶋雄一郎(高等教育研究センター特任准教授) 対象:学生、大学教職員、その他大学関係者 定員:500名 参加費:無料(要事前申込)	高等教育研究センター 特任准教授 和嶋雄一郎 052-789-5691	https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp/event/76/
12月23日(月)	令和6年度第6回情報基盤センター コロキウム	場所:情報基盤センター2階演習室(201号室) 時間:13:00~14:00 講演題目:「医用画像処理におけるデータと計算環境大規模化に伴う変化」 講演者:小田 昌宏(情報基盤センター准教授) 対象:一般 定員:40名 参加費:無料(要事前申込)	東海国立大学機構 情報企画課 052-789-4353	https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/information/event/2024-12-09-seminar.html
12月24日(火)	【オンライン】高等教育研究センター 第222回招へいセミナー/ 第9回学生支援担当者講習会	場所:オンライン(Zoom) 時間:13:00~15:00 講演題目:「名古屋大学における学生支援の取り組み」 講演者:鈴木健一(学生支援本部副本部長/学生相談センター長) 対象:学生、大学教職員、その他大学関係者 定員:500名 参加費:無料(要事前申込)	高等教育研究センター 准教授 安部有紀子 052-789-5692	https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp/event/78/
12月24日(火)	Idea Stoaデジファブ機器入門 「3Dプリンターでものづくり!」	場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)1階 Idea Stoa 時間:10:00~12:00 対象:学生、一般 参加費:無料(事前申込不要)	学術研究・ 産学官連携推進本部 Idea Stoa運営事務局 ideastoa@aip.nagoya-u.ac.jp	https://ideastoa.aip.nagoya-u.ac.jp/events/3dprinter20241224/
12月26日(木)	遺伝子実験施設公開セミナー 「植物の構造デザインにみる生存戦略」	場所:理学南館1階坂田・平田ホール 時間:13:00~16:00 対象:一般 参加費:無料(事前申込不要)	遺伝子実験施設事務局 052-789-3086	https://www.gene.nagoya-u.ac.jp/index.html
1月6日(月)~8日(水)	低温プラズマ科学研究センター 第3回プラズマ種子科学研究会	場所:石垣島シーサイドホテル(沖縄県石垣市)、 オンライン 対象:学生、一般 参加費:4,000円(学生)、8,000円(社会人)(他宿泊費)(要事前申込)	低温プラズマ科学 研究センター plasma.seed.sci@gmail.com	https://www.plasma.nagoya-u.ac.jp/news/notice/1-2.html
1月10日(金)	全学同窓会・学生会講演会	場所:野依記念学術交流館2階カンファレンスホール 時間:16:00~17:30 講演題目:「名古屋大学での学びが、こんなに役立つ」 講演者:佐々木一郎氏(ブラザー工業株式会社取締役副会長) 対象:一般 定員:150名 参加費:無料(要事前申込)	全学同窓会事務局 052-783-1920	https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2024_sasaki.html
1月18日(土)、 19日(日)	令和7年度大学入学共通テスト	場所:東山キャンパス	教育推進部入試課 052-789-5765	
1月22日(水)	ジェンダー・リサーチ・ライブラリ(GRL) ブックトーク	場所:ジェンダー・リサーチ・ライブラリ1階図書室 時間:15:00~15:30 講演題目:『母親になって後悔してる』 講演者:みお(教育発達科学研究科博士前期課程2年生) 対象:高校生以上、一般 定員:150名 参加費:無料(要事前申込)	https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/contact	https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/archives/2613

1月23日(木)	【オンライン】 2024年度第10回B-jinセミナー	場所:オンライン(Zoom) 時間:14:30~16:00 講演題目:「数学や物理学の基礎研究者の能力が企業でどのように生かされるのだろうか?」 講演者:田財佳樹氏(京セラ株式会社みなとみらいリサーチセンター) 対象:大学院生、ポスドク 定員:150名 参加費:無料(要事前申込)	https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/inquiry/	https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2024_10/
1月25日(土)、 26日(日)	2024年度 CALEアニュアル・カンファレンス	場所:アジア法交流館2階アジアコミュニティフォーラム、 オンライン(Zoom) 対象:一般 参加費:無料(要事前申込)	法政国際教育協力 研究センター cale-jimu@law.nagoya-u.ac.jp	https://cale.law.nagoya-u.ac.jp/event/annual-conference-2024
1月25日(木)	人文学研究科附属超域文化社会センター(TCS)企画シンポジウム×芸術講座 「戦時における身体メディア芸術のカー 興隆・淘汰の歴史と現状」第1部 合唱実 践&講演「スラブ音楽のきらめき」	場所:オンライン(Zoom) 時間:14:30~16:00 講師:高谷光信氏(東京混声合唱団指揮者) 対象:中学生以上 参加費:無料(要事前申込)	人文学研究科附属 超域文化社会センター 教授 星野幸代 hoshino.yukiyo.n7@f.mail.nagoya-u.ac.jp	https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html
1月27日(土)	第13回シンクロトン光研究センター シンポジウム/13th NUSR Symposimu	場所:EI創発工学館FUJIホール 時間:13:00~18:00 対象:一般 参加費:無料(要事前申込)	シンクロトン光 研究センター 052-789-6562	https://nusr.nagoya-u.ac.jp/?page_id=707
1月31日(金)	【オンライン】高等教育研究センター 第221回招聘セミナー/ 大学IR×DX研究会第6回セミナー	場所:オンライン(Zoom) 時間:13:30~15:30 講演題目:「現役担当者が語る事務改革の光と影」 講演者:湊 涼子氏(大阪大学専門職員) 対象:学生、大学教職員、その他大学関係者 定員:500名 参加費:無料(要事前申込)	高等教育研究センター 特任准教授 和嶋雄一郎 052-789-5691	https://web.cshe.nagoya-u.ac.jp/event/77/
2月15日(土)	博物館コンサートオーボエとハープ 「風と詩と共鳴 ときどき筋骨」	場所:博物館2階展示室 時間:14:00~15:00 出演者:松浦彩夏氏(オーボエ)、小川真騎子氏(ハープ) 対象:一般 定員:70名 参加費:無料(要事前申込)	博物館事務室 052-789-5767	http://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000783
2月23日(日)~ 3月3日(月)	Tongaliインド仮説検証研修	場所:インド(ハイデラバード、ベンガルール) 対象:学生 定員:若干名 参加費:無料(海外旅行保険などの諸経費は自費)	学術研究・ 産学官連携推進本部 スタートアップ推進室 Tongali事務局 052-747-6490	https://tongali.net/events/overseas-training-india-2025/
2月24日(土)、 25日(日)、26日(月)	令和7年度一般選抜個別学力検査 前期日程	場所:東山キャンパス (※27日は医学部医学科のみ)	教育推進部入試課 052-789-5765	
3月8日(金)	大学教育改革フォーラムin東海2025	場所:東山キャンパス 時間:10:00~18:00 参加費:無料(要事前申込)	大学教育改革フォーラム in東海2025実行委員会 tokaiforumstaff@gmail.com	https://sites.google.com/view/tokaiforum/
3月13日(水)	生命農学研究科2025年度実施 大学院入試説明会	場所:農学部・生命農学研究科講義棟、A館、B館、 理農館、生物機能開発利用研究センター 時間:10:30~ 参加費:無料(要事前申込)	農学部・生命農学研究科 nou- kyomu@t.mail.nagoya-u.ac.jp	http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/jukensei/j_daigakuin_setsumei2025-03.html

報道機関 各位
(名古屋教育記者会、文部科学記者会)

「キャンパスコンサート 2024 冬」開催

名古屋大学は、12月17日(火)にキャンパスコンサート 2024 冬を開催いたします。
本コンサートは、愛知県立芸術大学との共催により、双方の物的・人的資源を活用し、大学間の連携をより一層強め、文化・芸術の発展に貢献する事業として 2013 年に豊田講堂ホールにコンサート用グランドピアノが導入されたことをきっかけに毎年 2 回開催しております。
今回はピアノに加え、バイオリン・パーカッションと新たな趣向を凝らしてお届けいたします。ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

日 時:2024年12月17日(火) 18:00 開演(17:30 開場)
場 所:名古屋大学豊田講堂ホール
対 象:一般(入場無料。事前申込不要。どなたでもご来場いただけます)
詳 細:添付チラシ参照

【取材を希望される方へ】

事前申し込みは不要です。当日、受付にお越してください。



問い合わせ先

名古屋大学 Development Office

TEL:052-747-6559/6558

FAX:052-747-6383

Email:kikaku@t.mail.nagoya-u.ac.jp

— キャンパスコンサート2024冬 —

Campus Concert



Piano 光行いちご



Piano 大竹かな子



Violin 福田勝太



Percussion 鈴木豊大

2024. 12. 17 (火) 入場無料/事前申込不要

開場 17:30 開演 18:00 名古屋大学豊田講堂ホール



光行 いちご Piano

滋賀県出身。滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、現在愛知県立芸術大学音楽学部4年在学中。2023年度優秀学生賞受賞。学内選抜により、定期演奏会をはじめ多数の演奏会に出演。また、Joaquín Achúcarro氏、Irina Chukovskaya氏のマスタークラスを受講。Mozart International Music Competition Vienna B1部門 1st prize。第72回南日本音楽コンクールピアノ部門優秀賞

及びグランプリ。第10回あおによし音楽コンクール奈良プロフェッショナルステージピアノ部門第1位及び名古屋市賞。第3回あいの土山ピアノコンクール大学・一般部門第1位。リンナイ奨学財団奨学生。これまでに岩城なぎさ、澤ノ井薫子、内本久美、秋場敬浩の各氏に師事。



大竹 かな子 Piano

尾張旭市出身。愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコースを経て、同大学大学院音楽研究科博士前期課程を首席で修了。

大学在学中、選抜学生による音楽学部定期演奏会、音楽学部卒業演奏会、大学院修了演奏会などに出演。第3回刈谷国際音楽コンクール最優秀賞及び審査員特別賞、記念演奏会でラフマニノフの協奏曲第3番を演奏する。第10回横浜国際音楽コンクール最高位などを受賞。

2020年度北野生涯教育振興会音楽奨学生、2022年度第10回山田貞夫音楽賞及び特選受賞、セントラル愛知交響楽団とシューマンのピアノ協奏曲を協演。

これまでピアノを伊藤仁美、丹羽つね子、長谷正一、本村久子、鈴木謙一郎、Irina Chukovskayaの各氏に師事。現在はソロ、アンサンブルを中心とした演奏活動やオーケストラ客演演奏を行うほか、後進の指導にもあたっている。



福田 勝太 Violin

名古屋市出身。5歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。第19回子供のためのヴァイオリンコンクール金賞。第21回クラシックコンクール全国入選。第86回全日本学生音楽コンクール名古屋大会第2位、全国入選。第10回セリシア国際音楽コンクール室内楽部門第3位。学内選抜オーディションによる『室内楽の楽しみ』、『室内楽の夕べ』

『卒業演奏会』に出演。2017年、2018年山田貞夫音楽財団奨学金授与。これまでに故石田なをみ、故若林暢、桐山建志の各氏に師事。現在東海地方を中心にお客様とより近く楽しくをテーマに『LOVE KNOW』として演奏を行っている。



鈴木 豊大 Percussion

春日井市出身。名古屋音楽大学打楽器コースを首席で卒業。打楽器を山口恭範、栗原幸江、ドラムセットを山寛樹、黒田和良の各氏に師事。兄弟ピアノデュオ「レ・フレール」と共演。チャンネル登録20万人超えのピアノyoutuber Jacob Koller氏と共演、元キックボクサー「佐藤 嘉洋」企画のクラシックバトルに出演。名古屋を拠点に小学校・中学校・高等学校・大学でのアウトリーチに積極的に取り組む。

2015-17年長久手市文化の家専属アーティスト。カホンメーカーChaanyエンターサー。2020年より音楽家を社会と繋ぐ企画運営を行なっている(協力:社会福祉法人よつ葉の会、日本福祉大学教授 湯原悦子氏)。春日井広報大使のイリュージョニストDAIKIと音楽とイリュージョンを混ぜた独自の企画「ILUUSIC」プロジェクト進行中。

● 諸連絡

※お子様が大泣きしたり音をたててしまう場合は、他のお客様のご鑑賞の妨げとなりますので、途中退席をお願いする場合がございます。予めご理解いただけますと幸いです。

※その他、車椅子をご利用・足がお悪い等一定の配慮が必要な場合等留意事項がございましたら事前にご相談いただけますと幸いです。

※楽屋口等での出演者の入り待ち・出待ち、面会、花束等の受け渡しはご遠慮いただけますようお願いいたします。

※「マスクの着用を求めないことを基本」といたします。また、マスク着用を希望する方への適切な配慮とともに、十分な換気の確保、場内の清掃など感染症対策につきましては徹底して参ります。

プログラム

S. リャプノーフ：
12の超絶技巧練習曲 Op. 11より 第10番《レズギンカ》

M. ラヴェール：
《鏡》より 第1曲「夜蛾」、第2曲「悲しき鳥たち」

F. ショパン：
舟歌 Op. 60

F. クライスラー：
前奏曲とアレグロ (Vn./Pf.)

F. リスト：
ハンガリー狂詩曲第10番 (Pf.)

W. A. モーツァルト：
トルコ行進曲 (Pf.)

N. パガニーニ：
カプリス No. 24より (Vn./Pf./Perc.)

葉加瀬太郎：
ワイルド・スタリオンズ (Vn./Pf./Perc.)

※曲目は変更となる可能性がございます。



地下鉄名城線「名古屋大学」駅2番出口より徒歩すぐ。
※公共交通機関をご利用ください。

♪ お問い合わせ ♪

名古屋大学Development Office

TEL 052-747-6559 (内線: 6559)

mail kikaku(a)t.mail.nagoya-u.ac.jp

※(a)を@に変えてご利用ください



名古屋大学での学びが、 こんなに役立った

参加費
無料

どなたでもお申し込み
いただけます

日時 **1月10日** 金
2025年
16:00~17:30 (開場15:30~)

場所
名古屋大学 野依記念学術交流館2階
カンファレンスホール



お申し込み

申込期限: 2024年12月6日(金) 17:00まで
定員: [講演会] 150名様 [夕食会] 70名様
名古屋大学全学同窓会Webページよりお申し込みください。

名古屋大学全学同窓会Webページよりお申し込みください。
* 申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
詳細は全学同窓会Webページにてご確認ください。

全学同窓会 Webページ <https://www.nual.nagoya-u.ac.jp>

全学同窓会 facebook <https://www.facebook.com/nualface/>



◀ 上記のQRコードからもご確認・お申し込みいただけます。
https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2024_sasaki.html

講師

佐々木 一郎氏

ブラザー工業株式会社
取締役副会長

PROFILE

1957年生まれ

1981年 3月 名古屋大学工学部電気学科 卒業

1983年 3月 名古屋大学大学院工学研究科電気工学・
電気工学第2および電子工学専攻 修了

1983年 4月 ブラザー工業株式会社入社

2004年10月 ブラザーU.K. 出向

2005年 1月 ブラザーU.K. 社長

2008年 4月 NID開発部長

2009年 4月 執行役員

2012年10月 サービス&ソリューションズ事業 統括

2014年 6月 取締役 常務執行役員

2016年 4月 ドミノ事業 統括、産業用印刷事業 統括

2017年 4月 代表取締役 専務執行役員

2018年 6月 代表取締役社長

2024年 6月 取締役副会長



終了後、夕食会を開催します

申し訳ございませんが、夕食会は同窓会会員、学士会会員ご本人様のみとさせていただきます。

時間 17:40~18:40

場所 名古屋大学 野依記念学術交流館1階

会費 5,000円

*夕食会は立食形式となります。

名古屋大学人文学研究科附属超域文化社会センター(TCS)企画シンポジウム×芸術講座

「戦時における身体メディア芸術の力——興隆・淘汰の歴史と現状」

第I部 合唱実践&講演

「スラブ音楽のきらめき」

2025.1.25[土] 13:30-16:00

於:名古屋大学豊田講堂ホール

主催:名古屋大学人文学研究科附属超域文化社会センター(TCS)、科研費23H00003

協力:一般社団法人日本ウクライナ音楽協会



[合唱指導・講師]

高谷光信

東京混声合唱団指揮者、ウクライナ・チェルニーヒウフィルハーモニー交響楽団常任指揮者、(一社)日本ウクライナ音楽協会理事長

[曲目] 「ウクライナへの祈り」(作詞:伝承・作曲:V.シルヴェストロフ)

「鶴」(作詞:R.ガムザトフ・作曲:Y.フレンケリ)

混声合唱のためのカンタータ『土の歌』より“大地讃頌”(作詞:大木惇夫・作曲:佐藤眞)

合唱者募集

中学生以上対象 | 参加費無料 | 要登録

締切:1月21日[火] 下記QRコードからお申込下さい。

※事前登録頂いた方には楽譜を郵送しますが、日本ウクライナ音楽協会の趣意に沿ったお取扱いをお願いいたします。

予告 国際シンポジウム

「戦時における身体メディア芸術の力——興隆・淘汰の歴史と現状」

2025年1月25日[土]午前、1月26日[日]午前・午後

※2024年12月にTCSセンターHPにて詳細公開

お問合せ e-mail: hoshino.yukiyo.n7@f.mail.nagoya-u.ac.jp (星野幸代)

